

「伊予地域家庭教育情報誌」
ほのぼの 第2号

高校生が子育てを体験しました!

次世代の親となる高校生の交流事業

この事業は、高校生が乳幼児期の子どもがいる家庭を訪問あるいはホームステイし、育児体験・交流体験を行い、家庭教育や子育ての重要性を実体験を通じて学ぶことを目的としています。伊予市では、ぐんちゅう保育所の4世帯と伊予農業高等学校の生徒さん8人で交流を行いました。



高校生の感想

始めは見ず知らずの人の自宅に泊まるのはすごく不安でした。でも、訪問したとき、見ず知らずの私たちに優しく接してくれて不安がなくなりました。夕食を自分たちで作ったときは、おいしく作れるかとても不安だったけど今まで作った中で一番おいしい夕食を作ることができました。たくさん迷惑をかけてしまって本当に申し訳なく思っています。でもそれ以上に感謝の気持ちでいっぱいです。一泊二日交流してみて、親になるのはとても大変だと思いました。でも、子育ての中にもちよっとしたよろこびを感じることができたことも知りました。このような機会を与えてもらいとても感謝しています。本当にありがとうございました。

保護者の感想

学生さん達は、来られた時から笑顔で、明るく子供に接してくれたため、思った以上に子供達もすくうち解けていたように思います。できるだけ、学生さんにいろんなことを体験してもらおうと、夕食のメニューから考え買い物をし、子供と一緒に作ってもらいました。その間、親は、手出し口出しせず見せてもらいました。きちんと包丁の持ち方を教えたり、一生懸命やってくれました。子供も、自分が一緒に作ったものに感激していました。すっかり仲良くなり、一緒にお風呂も入り、一緒に眠りにつき、学生さんの頑張りに親の方も感激しました。2日目は弁当を作り、暑い中公園へ…。そこでも、子供の目線で遊んで、立派に親の役目を果たしていたように思います。最後に学生さんから「たのしかった」の言葉を頂き、「子育て＝しんどい」と思っている私たち夫婦にとって、子育てについて振り返る場となったような気がします。子育てしていく中で、親の方もいろんなことを教わり成長していきたいと思えます。ありがとうございました。



(第1回家庭教育連続講座 託児～読み聞かせ～)

レッスン I 子どものすばらしさ、感じていますか

子どもをじっくりと見つめてみると、子どもが大人以上にすばらしさが伝わってきます。ほら笑顔がすてきでしょ。話しかけてくることはさすがです。花や虫や鳥を見つめる目が輝いているでしょ。クレヨンを持つと魔法の手夢の世界が広がってきます。こちらが真剣にじっくりと見つめると、大人が無くなったステキなものがこちらにどんどん伝わってきます。



ひろ やす
升田裕康先生

レッスン II 子どもと対等に話していますか

子どもと話すとき、子どもと目の高さで話していますか。目も心も見下ろさないで話していますか。子どもの話をしっかり聞いて、こちらが思ったことを話していますか。子どもの話はおもしろい。じっくり聞くと、大人が想像しなかった世界が広がってきます。



絵本を読んでみませんか。是非、子どもたちと一緒に!絵本は絵とお話を同時に楽しむことができる芸術であり、イマジネーションの扉でもあるんです。絵本の世界は、子どもから大人までみんなが気軽に楽しむことができます。お父さん・お母さんが、子どもたちに本を読んであげる、同じお話の世界を味わう、時間を共有することで、安心感が芽生えます。また、読み手の声、ただの絵本の内容として届くのではなく、メッセージやエールとして子どもたちの心の中にしみこんでいくのです。さあ、想像の翼を思いっきり広げ、子どもたちと絵本の世界を楽しみましょう。(橋本千春)



家庭教育支援チーム

最近、本を読みましたか？

「忙しくて、本なんて読む時間はないです。」とか「うちの子は、本をちっとも読まなくて困ります。」などの声をちらほら耳にします。そうですね、大人も子どもも、毎日毎日、区切られた時間の中で、一生懸命ですもんね。

人間は電化製品のスイッチのように一瞬でなにかもを切り替えることなんてできないはず。今、世の中「能率良く」とか「効率をあげて」などとそんなのに重きを置き、少しでも無駄をなくそうとしていると思います。でも無駄と呼ばれてしまったその部分こそが、今の私たちにとって、大切な時間なんじゃないかと思えます。いつも全力疾走ではなく、時には助走をつけたり余韻を楽しんだり無駄だと思ひこんでしまっている時間を少し見つめなおしてみませんか。この大切な時間に是非子どもたちと一緒に絵本を読んでみましょう。
(橋本千春)

好評 家庭教育連続講座が始まりました!



託児も大盛況!遊びもいっぱい



絵本おもしろいね

【第1回講師】玉井俊幸先生 演題 脳のはたらきを上手にいかす子育て

9月27日(土)に第1回家庭教育連続講座が伊予市の中央公民館で開催されました。託児もあり、みなさん安心してゆっくり講演を聴くことができました。参加者の感想はご覧のとおり。

- 子育てのコツをピンポイントで教えてもらい自分の生活を見直す機会になった
- 子どもが帰宅したら、まず、しっかり話を聞いてやりたい
- やる気れがとて気に入った
- こんなに楽しい講義は久しぶりであった
- 子どもの「やる気ホルモン」を出す手助けを行っていききたい
- 玉井先生に親近感もてた
- 自然とふれあうこと、歌うこと...忘れかけていた大切なものを思い出すことができた
- 笑って過ごすことが今、我が家にとって重要であると思った
- 1日1感動を目標にしたい
- 童謡で涙が出た帰って歌ってみようと思った
- 乳幼児期は子ども主体の生活リズムであったのにいつの間にか子どもを大人の生活に合わせさせていたので見直したい

◆講演内容◆

子育ての現状

- 日本の父親は、一日平均約3.1時間しか子どもと一緒に過ごしていない。
- 約3割の幼児が夜10時まで起きている。
- 子どもに対して甘やかせすぎ、過保護や過干渉な親の増加。

朝ごはんの力

- 毎日朝食をとる子どもほどペーパーテストの得点が高い傾向。
- 毎日朝食をとる子どもほど持久力が高い傾向。

寝る子は育つ、ほんと!

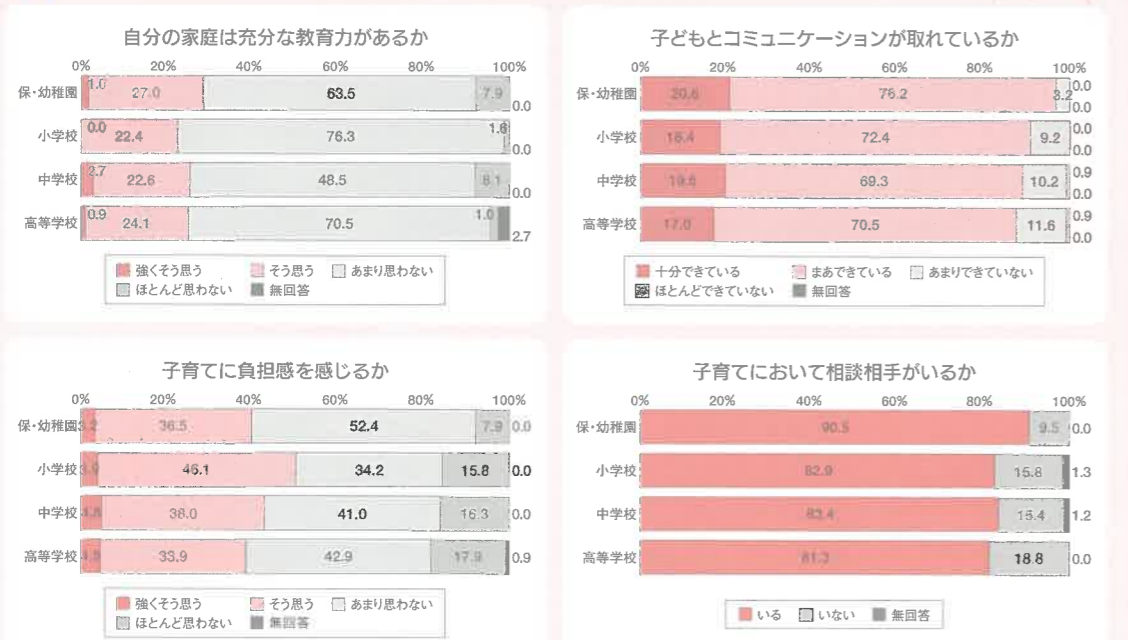
- 眠っている間に成長ホルモンが最も多く出る。

笑う門には福来たる

♪ (歌) ♪

その他いろいろご提言いただきました。

速報 伊予地域の家庭教育だいじょうぶ? ~7月に伊予地域の所・園・校(抽出所・園・校)で行ったアンケートの結果です~



アンケートにご協力ありがとうございました。このアンケート結果を見て、どのような感想をもたれましたか。後日、他の地域の結果も出しますのでお知らせします。子育てにおいて相談相手がない方が1割以上いますが、支援チームでは子育ての悩み相談も受け付けていますので、ご相談ください。【連絡先/TEL.089-909-8780 事務局:大瀧】

お知らせ 家庭教育連続講座は、まだまだこれから続きます。当日参加も受け付けますので、どしどしご参加ください。

回数	演題	講師	開催日	時間	場所
第3回	幼児期に育てられるもの ~楽しい子育てをしよう~	山口 千賀子氏 保育指導専門職員	10月25日(土)	13:30~15:00	伊予市中央公民館 2階第1会議室
第4回	自信をもつ子を育てる ~体を育て、心を育てる~	岩倉 泰子氏 社会教育ボランティア推進員(元校長)	11月15日(土)	13:30~15:00	伊予市中央公民館 2階第1会議室

定期相談もあります。お気軽にご利用ください。

校区	日時	相談場所
北山崎・南山崎校区	11月4日(火) 13:00~17:00	中村地区公民館
郡中校区	1月16日(金) 13:00~17:00	伊予市中央公民館
双海地区	2月18日(水) 13:00~17:00	双海地域事務所

「伊予市児童館あすなろ」は伊予地域家庭教育支援チームと連携しています!

児童館は、0歳から18歳の児童を対象に、健全な遊びを提供して、その心身の健康を増進し情操を豊かにすることを目的としています。伊予市児童館あすなろは、「遊びを通した子どもの育成」、「子育て家庭の支援」及び「地域の子育て環境づくり」を柱としながら、子どもたちや地域のニーズを踏まえた柔軟なプログラムを実施しています。児童館を支えるのは地域の力です。地域住民、関係団体との協働により、折り紙教室、伝承遊び、調理体験、幼児教室、手芸教室などを開催しています。

また、児童館ボランティアクラブの中高生が児童館活動を支え、様々な世代の交流が促進されています。地域交流の遊びの場で、子どもたちは考え、決断し、行動し、責任を持つという独自性・自主性・社会性を身につけます。子育てをがんばっている保護者の皆さんには、子育てに関する安心感を持ちながら、地域の子どもをみんな育てる機会を幅広く展開していくことができます。

地域の中で、地域とともに、次代を担う子どもたちの健やかな成長を支える環境作りの拠点となる施設づくりを目指しています。

